

第六号の二書式（第二十条の三関係） A 4

建築士法第 23 条の 6 の規定による
設計等の業務に関する報告書

(第一面)

建築士法第 23 条の 6 の規定により、設計等の業務に関する報告書を提出します。この報告書の記載事項は事実に相違ありません。

石川県知事 様

事業年度経過後 3 ヶ月以内に提出
提出日（郵送日、窓口持参日）を記入

令和 年 月 日

(一級) 建築士事務所 (石川県) 知事登録第 0001 号

建築士事務所の名称を記入する。

名 称 石川建築設計事務所

所在地 金沢市鞍月 1 - 1

電話 0 7 6 - 2 2 5 - 1 1 1 1

建築士事務所の開設者の氏名又は名称

法人登録の場合、法人名、役職、氏名を記入
する。

株式会社 石川

代表取締役 石川 太郎

押印不要

事業年度をご記入ください

個人事務所の場合は、1 月 1 日～1 2 月 3 1 日

法人事務所の場合は、決算月までの内容になります。

(決算月が10月の場合は、1 1 月 1 日～1 0 月 3 1 日)

〔記入注意〕建築士事務所の開設者が法人である場合には、法人の代表者の氏名も併せて記載すること。

事業年度 月 から 月

(第二面)

建築士事務所の業務の実績

〔記入注意〕

- 1 当該事業年度における直近のものから順次記入してください。
2 〔例〕

石川県

共同住宅

鉄筋コンクリート造
五階建延 700 m²

設計及び
工事監理

令和

○. 2. 1

○. 10. 3

建築物所在地 都道府県	建築物の用途	構造及び規模	業務内容	期間
石川県	工場	鉄骨造平屋建て 延べ 2,008 m ²	設計・監理	R〇.12.1～ 継続中
石川県	店舗併用住宅	R C 造 2 階建て 延べ 500 m ²	設計	R〇.8.9～ R〇.11.25
石川県	住宅	木造 2 階建て 延べ 400 m ²	設計・監理	R〇.4.9～ R〇.7.20
石川県	店舗	鉄骨造 延べ 250 m ²	設計・監理	R〇.1.9～ R〇.5.25
建築士法第 18 条に該当する業務を記入して下さい。（設計及び工事監理） 建築士法第 21 条に該当する業務についての記入は任意です。（その他の業務） ※ 建築工事などの工事の施工は建築士法の業務には該当しません。 該当する業務がなかった場合は、「該当なし」と記載ください。				

報告事業年度の期間に掛かる事業を完了日の遅い
記入してください。

継続中のものは、着工が遅いものから記入してく

※継続中のものは翌事業年度の業務報告書へも記載ください。

(第三面)
所属建築士名簿

ふりがな 氏 名	一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別及び管理建築士である場合にあっては、その旨	登録番号 (登録年月日)	登録を受けた都道府県名 (二級建築士又は木造建築士の場合)	建築士法第22条の2第1号から第3号に定める講習のうち直近のものを受けた年月日	構造設計一級建築士若しくは設備設計一級建築士である場合にあっては、その旨	構造設計一級建築士証又は設備設計一級建築士証の交付番号	建築士法第22条の2第4号及び第5号に定める講習のうちそれ直近のものを受けた年月日
	管理建築士の方は、その旨を記入下さい			直近の定期講習受講日			
かなざわ いちろう 金沢 一郎	一級建築士 (管理建築士)	第111111号 (昭和50年1月1日)		R〇. 2. 19	構造設計一級建築士	1111	R△. 3. 19
ななお じろう 七尾 二郎	一級建築士	第222222号 (昭和60年1月1日)		R△. 2. 19			
こまつ さぶろう 小松 三郎	一級建築士	第333333号 (平成3年1月1日)		R〇. 2. 19			
はくさん しろう 白山 四郎	二級建築士	第1111号 (昭和55年1月1日)	石川県	R△. 6. 19			
かが ごろう 加賀 五郎	二級建築士	第2222号 (令和3年1月1日)	富山県	R△. 12. 19			
のみ ろくろう 能美 六郎	木造建築士	第111号 (昭和48年1月1日)	福井県	R△. 2. 19			
当該事業年度最終日に所属していた建築士を全て記入してください。 所属建築士には管理建築士も含まれます。途中退社・異動した業務実績のある建築士も記入してください。右側空白に日付を記入してください							
計	一級建築士 3 名 二級建築士 2 名 木造建築士 1 名 構造設計一級建築士 1 名 設備設計一級建築士 名						

構造設計もしくは設備設計の資格をお持ちの方は、構造もしくは設備の定期講習の受講日を記載ください。
※一般の建築士定期講習の受講日の記載欄ではありません。

R△11.25 退社

(第四面)

所属建築士の業務の実績

〔記入注意〕

- 1 所属建築士の当該事業年度における業務の実績を、当該建築士事務所におけるものに限って、直近のものから順次記入してください。
- 2 〔例〕

石川太郎 石川県 共同住宅 鉄筋コンクリート造
五階建延 700 m² 設計及び
工事監理 令和
〇. 2. 1
〇. 10. 3

所属建築士の氏名	建築物所在地都道府県	建築物の用途	構造及び規模	業務内容	期間
金沢一郎	石川県	工場	鉄骨造平屋建て 延べ 2,008 m ²	設計・ 監理	R〇. 12. 1 ～継続中
七尾二郎	石川県	店舗併用住宅	R C 造 2 階建て 延べ 500 m ²	設計	R〇. 8. 9～ R〇. 11. 25
小松三郎	石川県	住宅	木造 2 階建て 延べ 400 m ²	設計・ 監理	R〇. 4. 9～ R〇. 7. 20
白山四郎	石川県	店舗	鉄骨造 延べ 250 m ²	設計・ 監理	R〇. 1. 9～ R〇. 5. 25

事業年度中に入退社した建築士であっても、業務の実績がある場合は記入してください。

設計・監理等に該当しないもの（補助業務等）は記入する必要ありません。

第二面に記入した業務の実績について、全て記入してください。

該当する業務がなかった場合は、「該当なし」と記載ください。

(第五面)

管理建築士による意見の概要

〔記入注意〕

当該事業年度における直近のものから順次記入してください。

個人事務所の方は（第五面）の提出は不要です。

[illegible]